

# JVC

LYT2389-001A-M

JP

準備する

撮影する

再生する

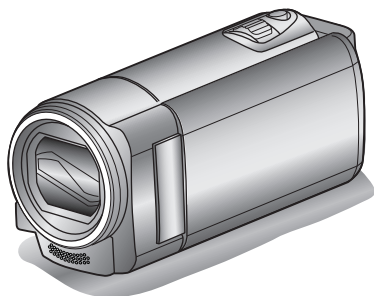
保存する

その他

ビデオカメラ

型名 **GZ-HM438**

## 基本取扱説明書



# Everio

お買い上げありがとうございます。

ご使用前に、「安全上のご注意」(p.2) および「使用上のご注意」(p.28)を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。



Web ユーザーガイド

本製品には "基本取扱説明書" (本書) と "Web ユーザーガイド" があります。詳しい取り扱い方法は下記アドレスの "Web ユーザーガイド" をご覧ください。

■ <http://manual.jvc.jp/c1a/lyt2269-031jp>

■ 付属のCD-ROMからもアクセスできます。(p.19)



# 安全上のご注意

ご使用になる方やほかの人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。  
絵表示の説明

注意、警告が必要なこと	禁止されていること	実行して欲しいこと
 一般的注意	 禁止	 一般的指示
 感電注意	 分解禁止	
	 ぬれ手禁止	
	 水場での使用禁止	

**万一異常が発生したときは**


- 煙が出ている、異臭がする
- 内部に水や物などがいった
- 落下などにより破損した
- 電源コードが痛んだ

➔

**バッテリーをはずす  
電源プラグをコンセントから抜く**  
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。  
販売店に修理を依頼してください。  
お客様による点検、整備、修理は危険です。


## 危険 「死亡、または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される」内容を示しています。

**バッテリー・電池について、次のような誤った取り扱いはいししない**

 禁止

- プラス (+) とマイナス (-) のまちがい
- 金属物 (ネックレス、ヘアピンなど) といっしょに携帯・保管する
- 分解、加工、加熱および水中もしくは火中に入れる
- 高温 (60°C以上) になる場所に置く
- 落としたり、強い衝撃を与える

・ 誤った使いかたをすると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。  
万一、液漏れしたら、取り付け部をよくふいてください。  
・ 液漏れしたバッテリー・電池は使わないでください。  
・ 液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。  
・ 液が目に入ったときは、きれいな水でよく洗い、ただちに医師に相談してください。  
・ バッテリーを持ち運ぶときは、端子部に金属が触れないようにビニール袋に入れて保管してください。  
・ 幼児の手の届くところには置かないでください。

 禁止

**変形や破損したバッテリーは、そのまま放置したり使用をしないで処分する**


・ そのまま放置したり使用すると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。(バッテリーの処分方法については、「使用上のご注意」の「バッテリーの処分について」をご覧ください。)

・ ご購入時は充電されていません。充電しておいでください。  
・ 直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。

● **長期間使わないときは…**


- ①劣化を防ぐため、使い切ってから取り外します。(撮影や再生をしなが、自動的に電源が切れるのを待つ)
- ②半年に一回程度は充電し、使い切って保管します。

## 警告 「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。

 禁止


**内部に物を入れない**

・ SDカードスロットなどから内部に物が入ると、火災や感電、故障の原因になります。

 禁止


**レンズを直射日光などに向けない**

・ 集光により、内部部品が破損、過熱し、火事や故障の原因になります。

 禁止

**乗り物を運転中に使用しない**

・ 交通事故の原因になります。

 禁止

**雨や雪の降る屋外や浴室などの湿度の多い場所で使用しない**

・ 本機の上に、水や液体が入った容器などを置かないでください。  
・ 水や液体が内部に入ると、火災や感電を引き起こす原因になります。

水場での使用禁止



## 警告

「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。



**分解・改造をしない**  
・火災や感電の原因になります。



**付属のACアダプター以外は使用しない**  
・火災や感電、故障の原因になります。



**電源プラグは根元まで確実に差し込む**  
・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。



**電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに差し込む**  
・本機に異常が発生したときに、ただちに電源プラグが抜けるようにしてください。



**電源コードを傷つけない**  
・痛んだまま使用すると、火災や感電の原因になります。



**コンセントやACアダプター(電源/DCプラグ)に、ほりやりや金属を付着させない**  
・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。



**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**  
・感電の原因になります。



**雷がなったら、電源プラグには触らない**  
・感電の原因になります。



**ACアダプターや機器を接続するときは、電源を切る**  
・電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。



## 注意

「人が障害を負ったり、物的損害が想定される」内容を示しています。



**5年に1度は内部の点検を販売店に相談する**  
・湿気の多くなる梅雨期のまえが効果的です。



**病院内や飛行機内での使用は、病院、航空会社の指示に従う**  
・本機の電磁波が計器類に影響するおそれがあります。



**グリップベルトをゆるんだまま使用しない**  
・落下によるけがや故障の原因になります。  
また、お子様は大人と一緒にお使いください。



**三脚を確実に取り付ける**  
・落下などによるけがや故障を防ぐため、お使いの三脚の説明書をご覧ください、しっかりと取り付けてください。



**移動するときは電源プラグや接続コード類をはずす**  
・コードを傷つけると、火災や感電の原因になります。



**使用しないときやお手入れをするときには、電源プラグやバッテリーをはずす**  
・電源が「切」でも機器に電気が流れています。電源プラグやバッテリーをはずしてください。感電の原因になります。



**湿気や砂ぼこりの多いところ、湯気や油煙が直接あたるところでは、使用しない**  
・火災や感電、故障の原因になります。



**熱源の近くでは、使用しない**  
・火災や故障の原因になります。

# もくじ

安全上のご注意 .....	2	テレビで映像を見る .....	14
付属品を確かめる .....	4	▶ <b>保存する</b> .....	16
各部のなまえとはたらき .....	5	いろいろな保存のしかた .....	16
▶ <b>準備する</b> .....	6	DVD レコーダーやビデオデッキにつない でダビングする .....	17
バッテリーを充電する .....	6	パソコンに保存する .....	18
グリップベルトを調節する .....	7	▶ <b>その他</b> .....	21
ハンドストラップとして使う .....	7	メニュー操作のしかた .....	21
SD カードを入れる .....	8	撮影時間 .....	25
時計を合わせる .....	10	困ったときは .....	26
▶ <b>撮影する</b> .....	12	使用上のご注意 .....	28
動画撮影 .....	12	仕様 .....	30
▶ <b>再生する</b> .....	13	保証とアフターサービス .....	31
本機で映像を見る/削除する .....	13		



## Web ユーザーガイド

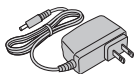
本製品には "基本取扱説明書" (本書) と "Web ユーザーガイド" があります。  
詳しい取り扱い方法は下記アドレスの "Web ユーザーガイド" をご覧ください。

■ <http://manual.jvc.jp/c1a/lyt2269-031jp>

■ 付属のCD-ROMからもアクセスできます。(p. 19)

## 付属品を確かめる

AC アダプター  
AC-V11※



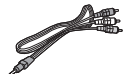
バッテリー  
BN-VG107



USB ケーブル  
(A タイプ・ミニ B タイプ)



AV コード



CD-ROM



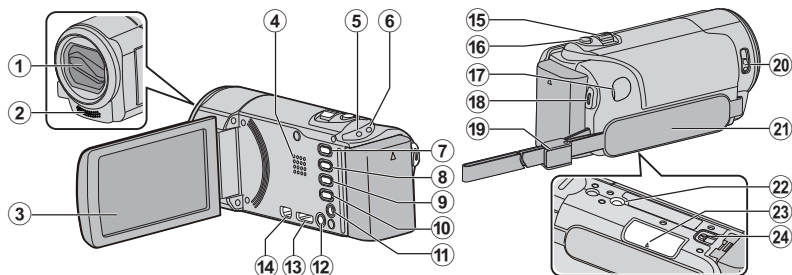
基本取扱説明書  
(本書)



- SD カードは別売です。本機で使えるカードの種類については、p. 8 をご覧ください。

※ 海外で AC アダプターを使うときは、訪問国や地域に合った市販の変換プラグをご用意ください。

# 各部のなまえとはたらき

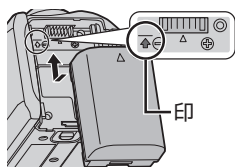


- ① レンズカバー
- ② モノラルマイク
- ③ 液晶モニター  
開閉すると、電源を入切できます。
- ④ スピーカー
- ⑤ ACCESS(アクセス)ランプ  
記録中や再生中に点灯/点滅します。
- ⑥ POWER/CHARGE(電源/充電)ランプ  
(p. 6)
- ⑦ **▶/■**(再生/録画)ボタン  
撮影と再生を切り換えます。
- ⑧ UP/<ボタン  
UP : スクロール/カーソルを上へ移動します。  
< : 早戻し
- ⑨ DOWN/>ボタン  
DOWN : スクロール/カーソルを下へ移動します。  
> : 早送り
- ⑩ OK/INFO ボタン  
選択を決定します /ファイル情報を表示します。  
撮影 : 撮影残量時間とバッテリー残量を表示します。  
再生 : 撮影日などのファイル情報を表示します。
- ⑪ AV 端子(p. 15、17)
- ⑫ MENU ボタン(p. 21)
- ⑬ HDMI(Mini)端子(p. 14)
- ⑭ USB 端子(p. 20)
- ⑮ ズームレバー/音量調整/インデックス表示  
(p. 12、13)
- ⑯ i.AUTO(インテリジェントオート)ボタン  
(p. 12)
- ⑰ DC 端子(p. 6)
- ⑱ START/STOP(録画/停止)ボタン  
(p. 12)/  
**▶/■**(再生/一時停止)ボタン(p. 13)
- ⑲ ストラップロック(p. 7)
- ⑳ レンズカバースイッチ(p. 12)
- ㉑ グリップベルト(p. 7)
- ㉒ 三脚取り付け穴
- ㉓ SD カードスロット(p. 8)
- ㉔ バッテリー取りはずしレバー(p. 6)

## バッテリーを充電する

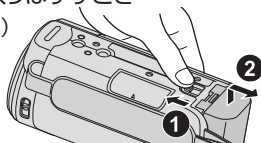
### 1 バッテリーを取り付ける

\*ご購入時のバッテリーは、充電されていません。

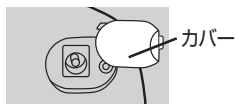


- 本体の印とバッテリー上部を合わせて、「カチッ」と音がするまでスライドします。

■ 取りはずすとき  
(底面)



### 2 DC端子につなぐ



ACアダプター  
コンセント  
(AC100V)へ

### 3 コンセントにつなぐ 充電ランプ



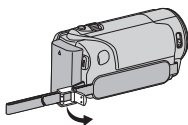
充電中:点滅  
充電完了:消灯

### ご注意

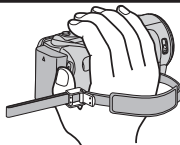
必ずビクター製のバッテリーをお使いください。

- ビクター製以外のバッテリーをご使用の場合は、安全面、性能面について保証いたしかねます。
- 充電時間:約 1 時間 50 分(付属バッテリーの場合)
- ※25℃で使用したときの時間です。室温 10℃ ~ 35℃の範囲外の場所では、充電に時間がかかったり、充電できないことがあります。低温など、使用状態によって撮影・再生可能時間は短くなります。
- USB ケーブルを使っても充電できます。(詳しくは Web ユーザーガイドへ)

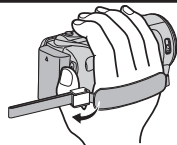
## グリップベルトを調節する



① 止め具のロックレバーを開く



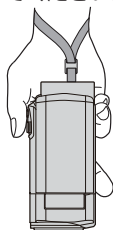
② ベルトの長さを調節する



③ ロックレバーを閉じる

## ハンドストラップとして使う

ベルトの長さを調整して、手首を通してください。



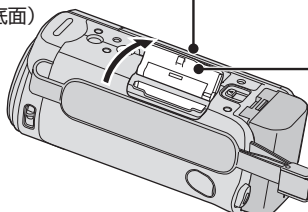
# SDカードを入れる

カードに記録するには、メディアの設定が必要です。(p.9)

カードがない場合は、「記録メディア設定」を「内蔵メモリー」にして撮影してください。

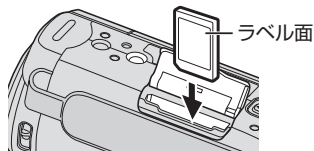
## 1 液晶モニターを閉じる

(底面)



## 2 カバーを開ける

## 3 SDカードを入れる



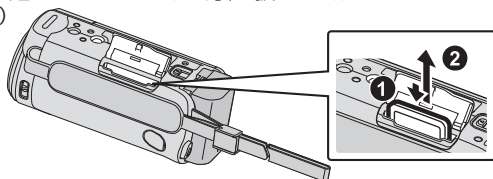
※ カードの抜き差しは、本体の電源を切った状態で行ってください。

※ 液晶モニターを閉じると、電源が切れます。

## ■ 取り出すとき

カードを一度押し込んでから、まっすぐ引き抜いてください。

(底面)



## お知らせ

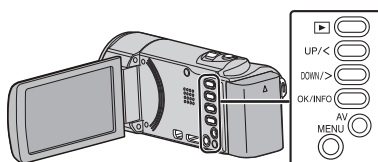
次のSDカードで動作を確認しています。

メーカー名	パナソニック(Panasonic)、東芝(TOSHIBA)、サンディスク(SanDisk)
動画 	Class 4 以上対応のSDカード(2GB)、Class 4 以上対応のSDHCカード(4GB~32GB)、またはClass 4 以上対応のSDXCカード(48GB~64GB)

- 上記以外のカードでは、正しく記録できなかつたり、データが消えたりすることがあります。
- SDカードの端子部を触らないでください。データが消えることがあります。
- メニューの「シームレス撮影」設定を「入」にしておくと内蔵メモリーの撮影可能時間がいっぱいになっても、撮影を止めずにSDカードに続けて記録できます。(「シームレス撮影」の設定は、Webユーザーガイドをご覧ください。)



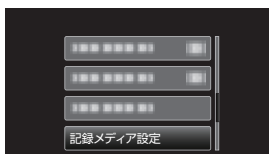
カーソルを選択・移動するには、UP/<ボタンまたは DOWN/>ボタンを使用してください。



### ■ SDカードを使うときは

"記録メディア設定"を"SDカード"に変更すると、カードを使って記録や再生ができます。

- ① MENU を押す
- ② "記録メディア設定"を選んで、OK を押す



- ③ "SDカード"を選んで、OK を押す



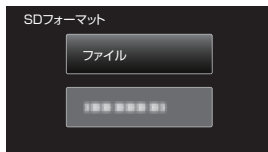
### ■ ほかの機器で使っていたSDカードをはじめて使うときは

メディア設定の"SDフォーマット"でカードをフォーマット(初期化)します。フォーマットすると、カード内のデータはすべて消えます。フォーマットする前に、カード内のすべてのファイルをパソコンなどにコピーしてください。

- ① MENU を押す
- ② "メディア設定"を選んで、OK を押す
- ③ "SDフォーマット"を選んで、OK を押す



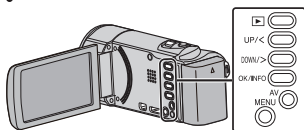
- ④ "ファイル"を選んで、OK を押す



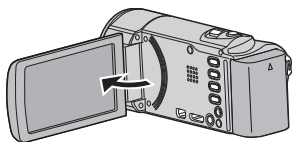
- ⑤ "はい"を選んで、OK を押す
- ⑥ フォーマットが終わったら、OK を押す

# 時計を合わせる

カーソルを選択・移動するには、UP/<ボタンまたは DOWN/>ボタンを使用してください。

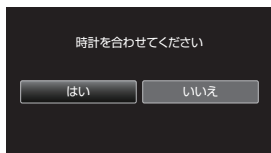


## 1 液晶モニターを開く



- 本体の電源が入ります。液晶モニターを閉じると、電源が切れます。

## 2 "時計を合わせてください"が表示されたら、"はい"を選んで、OK を押す



## 3 日時を設定する



- UP/<または DOWN/>で設定値を調整して、OK を押すと確定します。次の項目にカーソルが移動します。
- この手順を繰り返して年、月、日、時、分を入力します。

## 4 UP/<または DOWN/>を押して、お住まいの地域を選んで、OK を押す

- 都市名と時差が表示されます。



## 一つ前の画面に戻るとき MENU を押します。

## 時計を合わせ直すときは

メニューの "時計合わせ" から時計を合わせてください。

- ① MENU を押す
- ② "時計合わせ" を選んで、OK を押す



- ③ "日時設定" を選んで、OK を押す



- 以降の設定のしかたは、前ページの手順 3 ~ 4 と同じです。

## お知らせ

- 長期間使用しないと "時計を合わせてください" が表示されます。24 時間以上充電してから、時計を設定してください。

## 動画撮影

インテリジェントオート撮影を使えば、細かい設定を気にせず気軽に撮影できます。撮影状況に応じて、明るさやフォーカスなどを自動的に調整します。

※ 逆光 (A)、夜景 (M)、人物 (P) の撮影など、特定の撮影場面では、場面に応じたアイコンが画面に表示されます。

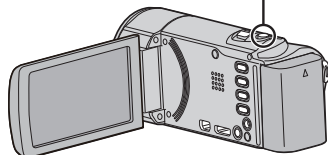
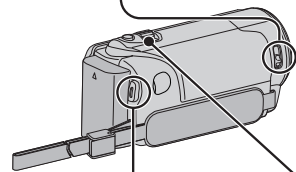
大切な撮影をする前に、試し撮りすることをおすすめします。

1 レンズカバーを開ける



2 撮影モードが i.A. インテリジェントオートか確認する

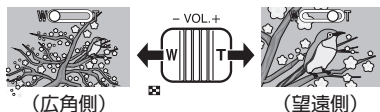
- M マニュアルになっているときは、**1/AUTO** を押して切り替えます。
- 押すたびに、インテリジェントオートとマニュアルが切り替わります。



ズームを使う

3 撮影を開始する

- もう一度押すと、停止します。



### ■ 動画撮影中の表示

手ぶれ補正 (P.22)

動画画質

シーンカウンタ



記録メディア

バッテリー残量

- || : 停止中
- REC : 録画中

0:00:00 [000:22] 撮影可能時間

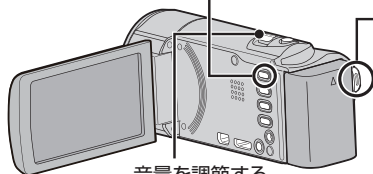
### お知らせ

- 撮影時間の目安は、付属のバッテリーで約 40 分です。(p. 25)
- アクセスランプ点灯中は、バッテリー、ACアダプター、SDカードを取り外さないでください。記録済みの画像データが読み出せなくなることがあります。

# 本機で映像を見る/削除する

撮影した動画を一覧表示(サムネイル表示)から選んで再生します。"記録メディア設定"(p. 9)で設定しているメディアの内容が一覧表示されます。

## 1 再生モードにする



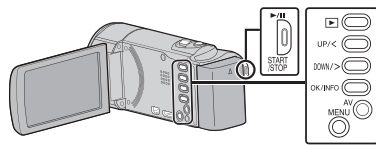
音量を調節する



## 2 再生する動画を選び、▶/||を押し



- カーソルを選択・移動するには、UP/<ボタンまたはDOWN/>ボタンを使用してください。



- もう一度▶を押すと撮影モードに戻ります。

### ■ インデックス画面から選択したファイルを削除するには

- MENU を押して "削除" を選んで、OK を押す
- "選択して削除" を選んで、OK を押す

- UP/<または DOWN/>を押してファイルを選択して、OK を押す
- MENU を押して "実行する" を選んで、OK を押す
- 削除が終わったら、OK を押す

### ■ 再生中に使える操作ボタン/レバー

	動画再生中	動画一時停止中
▶/	一時停止	再生
ズーム	-	停止(サムネイルに戻る)
ズーム(T) / Vol.+	音量増加	-
ズーム(W) / Vol.-	音量減少	-
UP/<	早戻し	コマ戻し
DOWN/>	早送り	コマ送り

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

# テレビで映像を見る

## 1 テレビに接続する

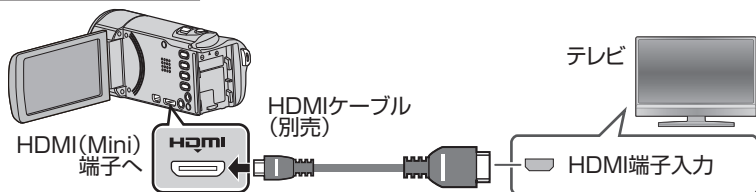
※ お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください。

- 電源を切る。

### ■ ハイビジョン画質で再生するとき

ハイビジョンテレビをお使いの場合は、本機の HDMI 端子に接続するとハイビジョン画質で再生することができます。

#### HDMI 端子でつなぐ



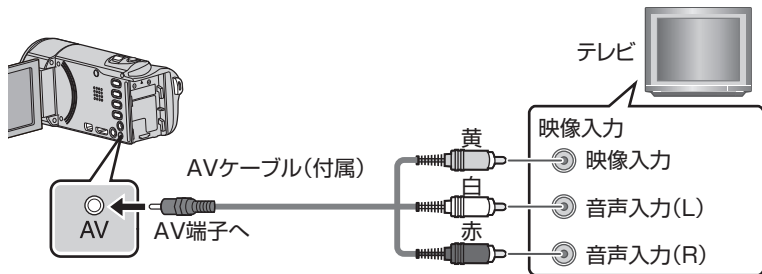
#### お知らせ

- テレビに関する質問や接続方法については、テレビの製造元にお問い合わせください。
- HDMI ケーブルは、High Speed HDMI ミニケーブルをお使いください。

## ■ 標準画質で再生するとき

従来のテレビをお使いの場合は、AV 端子に接続すると、標準画質で見ることができます。

### AV 端子でつなぐ



## 2 AC アダプターをつなぐ

- AC アダプターを接続すると自動で電源が入ります。

## 3 テレビの入力切換を選ぶ

## 4 映像を再生する (p. 13)

## ■ 日時などを表示して再生したいときは

"接続設定"メニューの"テレビ表示"を"入"にしてください。(p. 24)

また、再生メニューの"画面表示"を"入"にしてください。(p. 23)










## ■ テレビの表示が不自然なときは

テレビに正常に表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ケーブルを抜き差ししてください。</li> <li>● 本機の電源を入れ直してください。</li> </ul>
テレビに縦長に映る	<ul style="list-style-type: none"> <li>● "接続設定"メニューの"ビデオ出力"を"4:3"に変更してください。(p. 24)</li> </ul>
テレビに横長に映る	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テレビ側で画面を調整してください。</li> </ul>
不自然な色で映る	<ul style="list-style-type: none"> <li>● "x.v.Color"が"入"の状態撮影した映像を再生するとき、必要に応じてテレビを設定してください。</li> <li>● テレビ側で画面を調整してください。</li> </ul>

## いろいろな保存のしかた

本機は、いろいろな機器とつないでディスク作成や保存ができます。

- : 記録/再生できる
- △ : 再生のみできる
- : 記録/再生できない

メディアの選択	標準画質		ハイビジョン画質			参照ページ	
	 VHS (VHS テープ)	 DVD (DVD ディスク)	 AVCHD DVD (DVD ディスク)	 Blu-ray Disc (ブルーレイ ディスク)	 HDD (機器内蔵 のHDD)		
使用する機器	ブルーレイレコーダー 	—	○	△ ※1	○ ※1	○	レコーダーの取扱 説明書をご覧ください
	DVDレコーダー 	—	○	△ ※1	—	○	p. 17
	ビデオデッキ 	○	—	—	—	—	p. 17
	パソコン 	—	※2	※2	※3	○	p. 18

※1 AVCHD 対応機器のみ

※2 パソコンを使ったディスクの作りかたについて、詳しくは Web ユーザーガイドをご覧ください。

※3 付属のソフトウェアではブルーレイディスクは作成できません。ブルーレイディスクを作成するためには、市販のソフトウェアをお使いください。

### お知らせ

- DVDライター、外付型ブルーレイドライブ、または外付型ハードディスクと接続して保存することはできません。

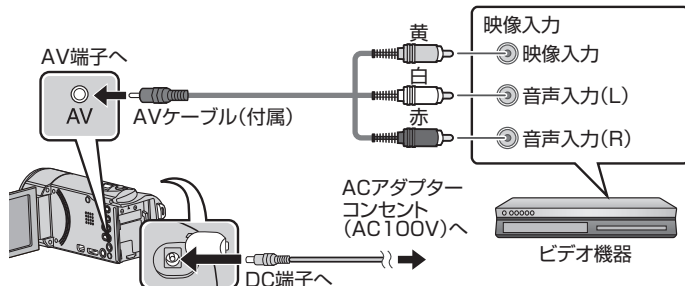


# DVDレコーダーやビデオデッキにつないでダビングする

DVDレコーダーやビデオデッキに接続して、動画を標準画質でダビングできます。テレビやDVDレコーダー、ビデオデッキなどの取扱説明書もご覧ください。

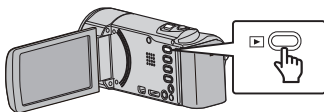
## 1 ビデオ機器に接続する

- 電源を切る。



- ACアダプターを接続すると自動で電源が入ります。

## 2 再生/録画を押して、再生モードにする



## 3 録画の準備をする

### テレビ・ビデオ機器の準備

- 対応する外部入力に切り換えます。
- DVD-Rやビデオテープを入れます。

### 本機の準備

- "接続設定"メニューの"ビデオ出力"を接続するテレビの画面比("4:3"または"16:9")に合わせます。(p.24)



## 4 録画を開始する

- 本機で動画を再生し、ビデオ機器の録画ボタンを押してください。
- 再生が終わったら、ビデオ機器の録画を停止してください。

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

# パソコンに保存する

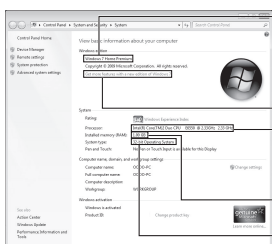
## パソコンの性能(目安)を確かめる

Windows パソコンをお使いのかたは

付属ソフトを使って、パソコンに映像を保存できます。

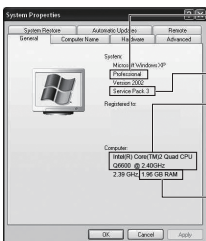
スタートメニューの「コンピュータ」(Windows Vista)または「コンピューター」(Windows 7)、「マイコンピュータ」(Windows XP)を右クリックし、「プロパティ」を選んで次の項目を確認します。

### ■ Windows 7 / Windows Vista の場合



- **Windows 7**  
Home Premium(プリインストール版のみ)
- **Windows Vista**  
Home BasicまたはHome Premium  
(共にプリインストール版のみ)
- Service Pack 2(Windows Vistaのみ)
- **プロセッサ**  
Intel Core Duo, CPU 1.66 GHz 以上  
(Intel Core 2 Duo, CPU 2.13 GHz 以上推奨)
- **メモリー**:2 GB以上
- **システムの種類**:32ビット/64ビット

### ■ Windows XP の場合



- **Windows XP**  
Home EditionまたはProfessional(共にプリインストール版のみ)
- Service Pack 3
- **プロセッサ**  
Intel Core Duo, CPU 1.66 GHz 以上  
(Intel Core 2 Duo, CPU 2.13 GHz 以上推奨)
- **メモリー**:1 GB以上

### ■ そのほかの条件

ディスプレイ:1024×768 ピクセル以上(1280×1024 ピクセル以上を推奨)

グラフィック: Intel G965 以上を推奨

### ■ 動画編集

Intel Core i7, CPU 2.53 GHz 以上推奨

#### お知らせ

- 上記の条件を満たしていないパソコンでは、付属ソフトを使用できません。
- 詳しくは、パソコンの製造元にお問い合わせください。

## Mac コンピューターをお使いのかたは

アップル社の iMovie'08、'09、'11 (動画) を使っても、コンピューターにファイルを取り込めます。

コンピューターの性能を確認するには、アップルメニューから「この Mac について」を選んでください。OS のバージョン、プロセッサ、搭載メモリーを確認できます。

- iMovie の最新情報については、アップル社のホームページをご覧ください。
- iMovie の操作については、ソフトのヘルプをお読みください。
- すべてのコンピューター環境での動作を保証するものではありません。

## 付属ソフトをインストールする

付属のソフトを使って、撮影した映像をカレンダー型式で表示したり、簡単な編集をすることができます。

### 1 付属の CD-ROM をパソコンにセットする

Windows Vista / Windows 7 の場合

- ① 自動再生画面で "INSTALL.EXE の実行" をクリックする。
  - ② ユーザーアカウント制御画面で "続行" をクリックする。
- しばらくすると "ソフトウェアセットアップ" が表示されます。
  - 表示されないときは、"マイコンピュータ" のなかの CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

Windows XP の場合

- 手順 2 へ進みます。

### 2 "Everio MediaBrowser 3" をクリックする



- 以後、画面の指示に従ってインストールしてください。

### 3 "完了" をクリックする

### 4 "終了" をクリックする



Everio

MediaBro...



Everio

MediaBro...

- インストールが完了し、デスクトップにアイコンが表示されます。

### お知らせ

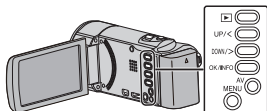
Web ユーザーガイドをご覧になるには、インターネットに接続して手順 2 で "Web ユーザーガイド" をクリックしてください。

# すべてのファイルをバックアップする

バックアップする前に、パソコンの HDD に十分な空き容量があることを確認してください。

- 本機の LCD モニターを閉じて、電源を切ってください。電源プラグをはずしてください。

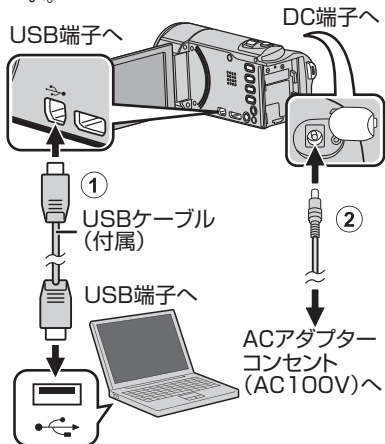
カーソルを選択・移動するには、UP/<ボタンまたは DOWN/>ボタンを使用してください。



## 1 液晶モニターを開く

## 2 USB ケーブルと AC アダプターを接続する

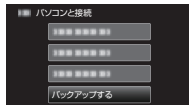
- 付属の AC アダプターを使用してください。



- 電源プラグを再接続してください。

## 3 "パソコンと接続"を選んで、OK を押す

## 4 "バックアップする"を選んで、OK を押す



- パソコンで付属ソフト Everio Media-Browser が立ち上がります。以降の手順は、パソコンで操作します。

## 5 ポリウムを選ぶ



## 6 バックアップを開始する



## 7 バックアップが終わったら、"OK"をクリックする

付属ソフト Everio MediaBrowser の操作などで困ったときは、裏表紙の「ピクセラユーザーサポートセンター」へご相談ください。

## ■ 本機をパソコンから取りはずすとき

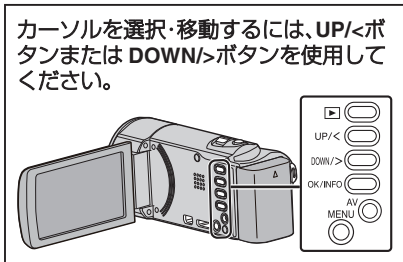
- ① "ハードウェアの安全な取り外し"をクリックする



- ② "USB 大容量記憶装置へ"をクリックする
- ③ (Windows Vista の場合) "OK"をクリックする
- ④ USB ケーブルをパソコンから取りはずし、本機の画面を閉じる

# メニュー操作のしかた

メニューを使ってさまざまな設定ができます。



**1** MENU を押す

**2** 設定したいメニューを選んで、OK を押す



**3** 設定を変更し、OK を押す



■ 一つ前の画面に戻るとき MENU を押します。

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

# 設定メニュー一覧

## ■ 動画撮影メニュー ※

### マニュアル設定

撮影の設定を手動で設定できます。  
(マニュアル撮影時のみ表示されます)

- ▶ マニュアル撮影モードに変更するには (p. 12)
- ▶ マニュアル設定メニュー (p. 22)

### 顔優先 A E / A F

人物の顔に枠が付き、フォーカスと明るさが自動的に調節されます。

### 手ぶれ補正

動画撮影時の手ぶれを効果的に補正して撮影できます。

### 感度アップ

暗いところで自動的に明るく調節します。

### ウィンドカット

風の音を低減します。

### タイムラプス撮影

一定間隔に 1 コマずつ撮影して、長い時間かけてゆっくり移り変わるシーンを短時間で再生することができます。

### フレームイン REC

液晶画面に表示される赤枠内の被写体の動き(明るさ)の変化を感知して、自動的に撮影開始および撮影停止をします。

### 動画画質

動画画質を設定します。

### ズーム倍率

ズームの最大倍率を設定します。

### シームレス撮影

内蔵メモリーの空き容量がなくなったときに、SD カードに切り替えて撮影を続けます。

### x.v.Color

より忠実に色を記録します。  
(再生するときは、x.v.Color 対応テレビをお使いください)

### 時計合わせ

現在時刻を修正したり、海外で使うときに合わせ直します。

### 記録メディア設定

動画を記録するメディアを設定します。

### 表示設定 (p. 24)

### 本体設定 (p. 24)

### 接続設定 (p. 24)

### メディア設定 (p. 24)

## マニュアル設定メニュー

### シーンセレクト

状況に合わせた撮影ができます。  
☑ ナイトアイ:周囲が薄暗いと、自動的に感度を上げて明るくします。  
☑ スポットライト:ライトの中の人物が明るくなりすぎないようにします。

### フォーカス

手動でピント合わせできます。

### 明るさ補正

画面全体の明るさを補正します。

### ホワイトバランス

光源に合わせて、色合いを調節できます。

### 逆光補正

逆光で被写体が暗くなるのを補正します。

### テレマクロ

ズームの望遠(T)側のときに接写できるようになります。

※「表示設定」、「本体設定」、「接続設定」、「メディア設定」の項目は、(p. 24)をご覧ください。

- 詳しい設定内容については、Web ユーザーガイドをご覧ください。
- 2 階層目の項目は、1 階層目にある項目を選ぶと、表示されます。
- メニューの使いかたは、p. 21 をご覧ください。

## ■ 動画再生メニュー ※

### 削除

不要な動画を削除します。

### プロテクト/解除

誤消去防止のプロテクトを付けます。

### コピー

内蔵メモリーからSDカードにコピーします。

### ムーブ

内蔵メモリーからSDカードに移動します。

### 日付検索

撮影日から、一覧表示する動画を絞り込みます。

### 特殊ファイル再生

管理情報を修復した動画ファイルなどを再生します。

### シームレス撮影管理

シームレス撮影した別々のメディアに分かれているシーンの結合/解除をします。

### 時計合わせ

現在時刻を修正したり、海外で使うときに合わせ直します。

### 記録メディア設定

動画を再生するメディアを設定します。

### 画面表示

再生中の表示内容を切り替えます。

### 表示設定 (p. 24)

### 本体設定 (p. 24)

### 接続設定 (p. 24)

### メディア設定 (p. 24)

## ■ 共通設定メニュー

### 表示設定メニュー

#### LANG./言語

メニューなどで表示する言語を設定します。

#### 日付表示配列

年月日の並び順と、時間表示(24h/12h)を設定します。

#### モニター明るさ

画面の明るさを調整します。

### 本体設定メニュー

#### デモモード

本機の機能のデモを再生できます。

#### 操作音

操作時に音を鳴らすか設定します。

#### オートパワーオフ

電源の切り忘れ防止のため、5分放置でバッテリー使用時は電源を切り、ACアダプター使用時は待機状態になります。

#### 高速起動

5分以内に再び画面を開くと、すぐに起動できます。

#### ファームウェア更新

本機の機能を最新版に更新できます。

#### 工場出荷

すべての設定をお買い上げ時の設定に戻します。

### 接続設定メニュー

#### テレビ表示

テレビで再生するときに、アイコンや日時を表示できます。

#### ビデオ出力

接続するテレビに合わせた画面比(16:9または4:3)に設定します。

#### HDMI 出力

テレビのHDMI端子に接続するときに、本機のHDMI端子の出力を設定します。

#### HDMI 機器制御

HDMI CEC規格に対応するテレビと連動します。

### メディア設定メニュー

#### SD フォーマット

SDカードのファイルをすべて消去(初期化)します。

#### メモリーフォーマット

内蔵メモリーのファイルをすべて消去(初期化)します。

#### メモリーデータ消去

本機を廃棄または譲渡するときに実行します。



# 撮影時間

動画の撮影可能時間や撮影時間は、OK/INFO ボタンを押すと確認できます。

## 動画の撮影可能時間の目安

画質	内蔵メモリー 8 GB	SDHC/SDXC カード					
		4 GB	8 GB	16 GB	32 GB	48 GB	64 GB
UXP	40 分	20 分	40 分	1 時間 20 分	2 時間 50 分	4 時間 20 分	5 時間 50 分
XP	50 分	30 分	1 時間	2 時間	4 時間 10 分	6 時間 10 分	8 時間 20 分
SP	1 時間 20 分	40 分	1 時間 20 分	2 時間 50 分	5 時間 50 分	8 時間 40 分	11 時間 50 分
EP	3 時間 20 分	1 時間 40 分	3 時間 40 分	7 時間 10 分	14 時間 50 分	21 時間 50 分	29 時間 50 分

- 撮影時間は目安です。撮影するシーンによって短くなる場合があります。

## 撮影時間の目安(バッテリー使用時)

バッテリー	実撮影時間	連続撮影時間
BN-VG107	40 分	1 時間 05 分
BN-VG114	1 時間 15 分	2 時間 10 分
BN-VG121	1 時間 55 分	3 時間 15 分
BN-VG138	3 時間 20 分	5 時間 45 分

- "モニター明るさ"が"3"(標準)のときの値です。
- 実撮影時間は、ズームの使用や、撮影と停止の繰り返しなどで短くなります。(撮影予定時間の約 3 倍分を用意することをおすすめします)
- 十分に充電しても、撮影時間が短くなったときはバッテリーの寿命です。(新しいものに交換してください)

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

# 困ったときは

困った時には修理を依頼する前に以下の手順でご確認ください。

- 以下の「こんなときは…」をご覧ください。
- Web ユーザーガイドの「困ったときは」をご覧ください。  
 使い方で困ったときも Web ユーザーガイドに詳しい説明が記載されています。
  - <http://manual.jvc.jp/index.html/>
  - 付属のCD-ROMからもアクセスできます。(p. 19)
- ビクターホームページで最新の製品 Q&A 情報をご覧ください。
  - <http://www.jvc.jp/>
- 本機はデジタル機器のため、静電気や妨害ノイズによりエラー表示や正常に動作しないことがあります。  
 そのようなときは、以下の手順で本機をリセットしてください。
  - 電源を切る。(液晶モニターを閉じる)
  - 電源(バッテリーとACアダプター)をいったん取りはずし、再度接続すると自動的に本機の電源が入ります。
- 上記確認で解決しない場合や不具合がある場合は、お買い上げ店、または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター(裏表紙参照)にお問い合わせください。

## こんなときは…

こんなときは		ここを確かめてください	参照ページ
電源	画面を閉じると POWER/CHARGE ランプが点滅する	<ul style="list-style-type: none"> <li>バッテリーの充電中です。</li> </ul>	6
	撮影できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶(再生/録画)ボタンで撮影モードにしてください。</li> </ul>	13
撮影	自動的に撮影が停止した	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源を切り、しばらく経ってから電源を入れてください。(本機の温度が上がると、回路の保護のため自動的に停止します。)</li> </ul>	-
		<ul style="list-style-type: none"> <li>12 時間連続撮影すると撮影が停止します。</li> </ul>	-
再生	日付表示が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生メニュー "画面表示"を設定してください。</li> </ul>	23
	音や映像が途切れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>シーンとシーンのつなぎ部分で途切れることがあります。故障ではありません。</li> </ul>	-

充電中、ランプが点滅しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● バッテリー残量を確認してください。(バッテリーが満充電されていると、ランプが点滅しません。)</li> <li>● 低温や高温の環境で充電しているときは、許容動作温度の範囲内の環境で充電してください。(範囲外の環境では、バッテリー保護のため充電を中止することがあります。)</li> </ul>	6 6
本機が熱くなる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 故障ではありません。(長時間使用すると、本機が多少熱くなることがあります。)</li> </ul>	-

## こんな表示がでたら…

こんな表示がでたら	ここを確かめてください	参照ページ
内蔵メモリーへ記録できませんでした/カードへ記録できませんでした	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機の電源を入れ直してください。</li> <li>● 上記の操作で解決しないときは、バックアップをとってから、“メディア設定”メニューの“メモリーフォーマット”または“SDフォーマット”を実行してください。(データはすべて消えます。)</li> </ul>	- -
撮影データが少ないため保存できません	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 実記録時間の表示が「0:00:00:17」以下のときに撮影を停止すると、動画を保存できません。</li> </ul>	-
内蔵メモリーエラー/カードエラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機の電源を入れ直してください。</li> <li>● ACアダプターとバッテリーを取りはずし、SDカードを入れ直してください。</li> <li>● SDカードの端子の汚れを取り除いてください。</li> <li>● 上記の操作で解決しないときは、バックアップをとってから、“メディア設定”メニューの“SDフォーマット”を実行してください。(データはすべて消えます。)</li> </ul>	- - - -
レンズカバーを確認してください	<ul style="list-style-type: none"> <li>● レンズカバーが閉じているとき、または周りが暗いときに電源を入れると、約5秒間表示します。</li> </ul>	-

# 使用上のご注意

- 精密機械ですので、落下や振動・衝撃を与えないでください。  
記録や再生ができなくなります。
- 本機、バッテリーなどを、直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。  
内部の電池やバッテリーは、高温になると、破裂することがあります。
- 撮影したデータはパソコンやDVDなどに保存してください。  
データが失われた際、弊社では一切の責任を負いかねますので、パソコンやDVDなどに定期的に保存することをおすすめします。
- データ流出によるトラブルを回避するには、市販のデータ消去ソフトを使ってデータを完全に消去するか、SDカードを金槌などによって物理的に破壊することをおすすめします。  
この処理は、お客様の責任において行ってください。  
万一、個人データが漏洩した場合、当社は一切の責任を負いかねます。

## バッテリーの処分について

バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。  
安全のため、端子部にセロハンテープなどを貼ってください。  
お問い合わせ：有限責任中間法人 JBRC <http://www.jbrc.net/hp/>



Li-ion

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。  
ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

## 著作権について

- 録画・撮影・録音したもの、付属のソフトウェアで編集したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。特に音楽 CD を BGM とするムービーを編集する場合は、音楽 CD の複製と同様の制限が生じますのでご注意ください。
- 鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合があるので、ご注意ください。

## イラスト・画面表示について

本書に描かれているイラスト・画面表示は、わかりやすくするために誇張・省略があります。また、改良のため予告なく変更されることがあります。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

## 他社製品の登録商標と商標について

- AVCHDとAVCHDロゴは、パナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- x.v.Colorと **x.v.Color** は商標です。
- HDMI® (High-Definition Multimedia Interface) と **HDMI** は、HDMI Licensing, LLC の商標です。
- 本機はドルビーラポラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby, ドルビーとダブルD 記号は、ドルビーラポラトリーズの商標です。
- Microsoft, Windows, Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- iMovieは、米国およびその他の国で登録された米国Apple, Inc. の商標です。
- Intel Core, Pentium, Celeronは、米国Intel Corporation の商標または登録商標です。
- その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM マークと ® マークを明記していません。

## 液晶画面について

- 表面を強く押したり強い衝撃を与えないでください。傷がついたり、割れる場合があります

# 仕様

カメラ本体	
電源	ACアダプター使用時:DC 5.2 V、バッテリー使用時:DC 3.5 V - 3.6 V
消費電力	2.2 W ("モニター明るさ"が"3"(標準)の場合)
外形寸法(mm)	50.5 mm x 55 mm x 110.5 mm (幅×高さ×奥行き:グリップベルトを含まず)
質量	約 185 g(本体のみ)、約 215 g(付属バッテリー含む)
動作環境	許容動作温度:0℃ ~ 40℃、許容保存温度:-20℃ ~ 50℃、 許容相対湿度:35% ~ 80%
映像素子	1/5.8 型 150 万画素 プログレッシブ CMOS
撮像エリア(動画)	63 万画素 ~ 105 万画素(ハイビジョン画質、手ぶれ補正 アクティブモード入) 63 万画素 ~ 125 万画素(ハイビジョン画質、手ぶれ補正 アクティブモード切)
レンズ	F1.8 ~ F6.3、f= 2.9 mm ~ 116.0 mm 35mm カメラ換算: 45.6 mm ~ 1,824 mm(手ぶれ補正 アクティブモード入)、 42.0 mm ~ 1,680 mm(手ぶれ補正 アクティブモード切)
ズーム(動画)	光学ズーム:等倍 ~ 40 倍 デジタルズーム:~ 900 倍
動画記録方式	AVCHD 規格準拠、映像: AVC/H.264、音声: Dolby Digital (2ch)(モノラル)
記録メディア	内蔵メモリー(8 GB)、SDHC/SDXC カード(市販)
時計用電池	二次電池

AC アダプター(AC-V11)※	
電源	AC 100 V - 240 V、50 Hz/60 Hz
出力	DC 5.2 V、1 A
許容動作温度	0℃ ~ 40℃(充電時は 10℃ ~ 35℃)
外形寸法(mm)	66 mm x 28 mm x 47 mm (幅×高さ×奥行き:コードと AC プラグを 含まず)
質量	約 71 g

※ 海外で AC アダプターを使うときは、訪問国や地域に合った市販の変換プラグをご用意ください。

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。

# 保証とアフターサービス

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

## 修理を依頼される場合（持込修理）

「困ったときは」(P.26) にしたがって、まずはお確認ください。  
ご確認後、なお異常があるときは、電源を切り、必ずバッテリーと AC アダプターを取りはずしてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

### ご連絡いただきたい内容

1. 品名：ビデオカメラ
2. 型名：表紙参照
3. お買い上げ年・月・日
4. 故障の状況
5. ご住所・お名前・電話番号

### ■ 保証期間中は

保証書の規定にしたがって販売店にて修理させていただきます。

### ■ 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

## 保証書（別添付）

必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。  
保証書は大切に保管してください。

## 性能部品の保有期間

当社は性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ご相談窓口における 個人情報のお取り扱い

株式会社 JVC ケンウッド およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

## 免責事項

- 本機や付属品、SD カードの万一の不具合により、正常に録画や録音、再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。
- 商品の不具合によるものも含め、いったん消失した記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。
- 万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 品質向上を目的として、交換した不良の記録媒体を解析させていただく場合があります。そのため、返却できないことがあります。

## ■ 製品についてお困りのことがありましたら・・・

### ホームページ情報

製品に関するQ&A、メールによる問い合わせなどは  
ビデオカメラサポート情報

<http://www.jvc.jp/dvmain/support/>

### 付属ソフトEverio MediaBrowserのご相談

#### ピクセラユーザーサポートセンター



0120-727-231

(受付時間 10:00~18:00)  
・年末年始、祝日、休業日を除く

携帯電話をご利用の場合 フリーダイヤル、ナビダイヤルがご利用できない場合

0570-064-246

FAX 06-6633-2992 (24時間受付)

ホームページ <http://www.pixela.co.jp/oem/jvc/mediabrowser/j/>

### 取扱い方法などのご相談

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター  
にご相談ください。

### アフターサービスのご相談

お買い上げの販売店、またはJVCケンウッド  
カスタマーサポートセンターにご相談ください。

### JVCケンウッドカスタマーサポートセンター



0120-2727-87

(月曜~金曜 9:30~18:00  
土曜 9:30~12:00、13:00~17:30)  
・日曜祝日、弊社休業日を除く

2011年4月から名称および電話番号が変更になりました。

● 電話番号を良くお確かめの上、おかけ間違いのないようご注意ください。

● 携帯電話・PHS・一部のIP電話などからは 045-450-8950

● ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、P.31をご覧ください。



ユーザー登録  
のすすめ

製品のサポート情報、イベント情報等の  
提供サービスなどをご利用いただけます。  
<http://www.jvc.jp/reg/>

## 株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目12番地

- 日本ビクター、ケンウッド、J&Kカーエレクトロニクス、JVCケンウッドの4社は合併し、株式会社JVCケンウッドになりました。
- 本書の内容は2011年9月現在のものです。内容は予告なく変更することがあります。最新の情報はホームページをご覧ください。

